

2026年3月27日
株式会社日本政策金融公庫
総合研究所

日本公庫総研レポート No.2026-2

『国際比較で読み解く日本の中小企業のイメージ』を発行

日本政策金融公庫総合研究所は日本公庫総研レポート No. 2026-2 『国際比較で読み解く日本の中小企業のイメージ』を発行しました。

一口に中小企業といっても、人々が思い浮かべる企業像は異なるでしょう。しかし、近年、学生を対象にした調査を除くと、日本における中小企業のイメージをめぐる研究は見当たりません。また、中小企業に抱くイメージを日本とそのほかの国で比較したものは確認できません。

そこで、当研究所では日本と海外における中小企業のイメージを比較し、それらの特徴や問題意識を明らかにするため、アンケート調査を実施しました。本レポートでは、企業規模、経営者や勤務者といった立場、居住国の観点から分析しました。

<調査の要領>

- ・調査時点：2025年10月
- ・調査対象：日本、米国、英国、ドイツ、フランスのいずれかに住んでおり、居住国において通算で1年以上働いている人
- ・調査方法：インターネット調査
- ・回収数：7,500人（各国1,500人）

【本レポートの概要】

1 日本の中小企業と大企業に抱くイメージ

日本の中小企業は、大企業と比べると、柔軟な対応力への期待や、家族的な雰囲気、仕事の自由度の高さといった特性が評価される一方、ブランド力に課題があると認識されていることが明らかになりました。

2 経営者と勤務者の視点からみた中小企業に抱くイメージ

経営者は自己実現、勤務者は雇用機会といった場としての役割を求める傾向がみられました。また、両者とも設備や資金、人材といった経営資源の不足を課題と認識しているものの、勤務者の方がその不安をより強く感じていることがわかりました。

3 日本と海外における中小企業のイメージの比較

日本と海外における中小企業のイメージを比較すると、柔軟で小回りが利く対応力に対する期待はいずれの国でも高くなりました。一方で、海外では、中小企業に対して、独自性や創造性の発揮、高品質な商品・サービスの提供など幅広い役割を求めていること、中小企業で働くことへの肯定的な意識が日本よりも高いことが明らかになりました。

※ 本レポートは、[こちら](#)でご覧になれます。
[バックナンバーはこちら](#)です。

<お問い合わせ先>

日本政策金融公庫 総合研究所 中小企業研究第二グループ（担当：西山・池上・金子）
〒100-0004 東京都千代田区大手町1-9-4 大手町フィナンシャルシティ ノースタワー TEL 03-3270-1269